

保育園ICT活用事業 保育MIMOTEについて

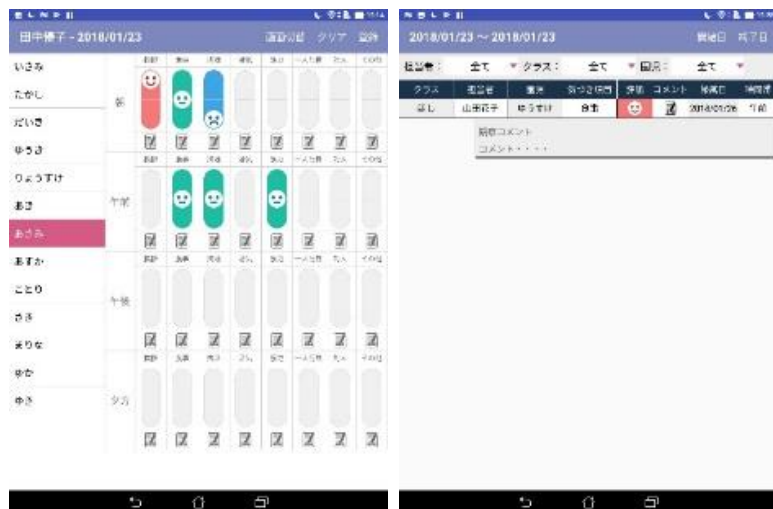
美濃加茂市
一般社団法人 気づきデータ解析研究所





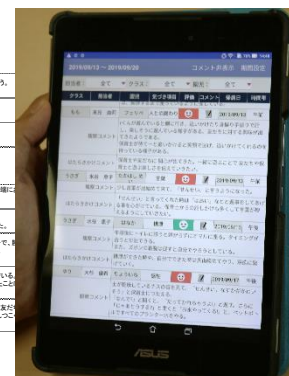
- 入力

園児の様子、自分が園児に対して行った働きかけなど”気づき”を補足する内容をコメントに残すこともできます。



参照

入力された“気づき”は、タブレット等の端末上でいつでも参照できます。
園児ごと、一定の期間、など時系列に振り返ることができます。
またExcel形式での出力、データ加工も可能です。

[illegible]

語り合い

入力された“気づき”を用いてチーム内で子どもを中心においた保育の振り返り・語り合いを行います。





- ## 基本項目

參考資料

[illegible]

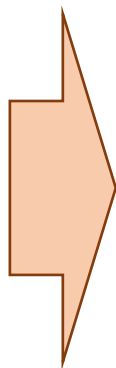


MIMOTEを使った“保育の振り返り・語り合い”

- MIMOTEの取り組みでは“**振り返り・語り合い**”をとても大切にしています。
- MIMOTEのデータを使った「語り合い」を通して、園児一人ひとりの個性や状態にあわせた保育の質の向上を目指します。
- また、保育士の日々の保育の悩み・不安の解消や、早期の熟練化を目指します。

【語り合いとは？（語り合いでは・・・）】

- 入力された“気づき”データを材料に、保育士同士が園児の個性・状態やその変化についてディスカッションを行う
- その際、園児の行動の裏にある想いに目を向け、一人ひとりと深く向き合うことを意識する



目指す効果

【園児にとって・・・】

- 一人ひとりの園児の特性（個性や状態）に合わせた保育の実現へ
- 発達面での気になる点の早期発見や適切な機関との連携

【保育士にとって・・・】

- 保育士同士のコミュニケーションが活性化されることで、特に新人の保育士にとっての悩み・不安が解決されやすくなる
- ベテラン・熟練と認知される保育士の「気づき」の傾向が見える化し、保育士全体のスキルアップに活用





美濃加茂市における取組み

■どのような取組みなの？

- 平成28(2016)年から地方創生の一環として取組み開始
- 保育士が日々の子どもの様子＝「気づき」をタブレットに入力
- 登降園データもデジタル化することで、出席簿も自動作成
- 市内公立全園、全クラスにて実施中



➡「記憶」を「記録」化し、保育士同士で共有しやすくしながら、日々の保育に活用します

➡出席簿や児童票といった紙帳票の作成に係る保育士の事務を効率化し、直接子どもに寄り添う時間を増やします



A先生はこういう思いなんだ・・・
私の考え、B先生の考えと同じだった・・・
人によって考え方や思いは様々、共通理解することで、子どもも保育士も育ち合い、自己肯定感を高められ、保育における質の向上につながる

職員で共通した情報を活用し、保護者との語り合いをする中で、信頼関係を深めることができ、子どもの成長を共に喜びあうことができる



美濃加茂市における取組み

■データはどうやって活用しているの？

(データを活用した園内研修の例)



- ➡園内研修などにおいてデータを多角的に見ることにより、ひとりひとりの子どもに対する理解を深めます
- ➡子どもの育ちや保育士のかかわりの変化が、「見える化」されます



- 入力



※登園(欠席/早退)人数がリアルタイムで表示されるため、人数調べや、災害発生時の安否確認等にも利用可能です。